

動物の生息条件	主な動物の生息（渡来）地
標高 1,500 メートル以上の高山地帯 ハイマツ、岩石地帯 ハイマツ地帯 高山地帯	蔵王連峰、栗駒山、船形山頂 蔵王連峰、栗駒山 蔵王連峰、栗駒山、船形山 蔵王連峰

#### (1) 哺乳類

県内には、大型獣のニホンツキノワグマや特別天然記念物のニホンカモシカをはじめ、高山獣のホンドオコジョや、ホンダザルの群れなど多くの哺乳類が生息している。しかし、それぞれの生息分布の資料の差や、種の生物的特性の相違があることから、県内において資料が整備されている狩猟獣とニホンカモシカなどを対象として、生息分布調査を実施し、生息分布図を作成し、図を作成し、これを基礎として、別表に示す種類について評価度を設定した。

#### 〔哺乳類評価度〕

哺乳類の評価に当たっては、これを10段階に区分し、高山などに限って生息する種、貴重な種、個体数の多少及び減少傾向、生息域の特性、生息域の広狭などを勘案のうえ評価度を設定した。

#### 評 価 度 表

種の貴重性	生息の特異性	生息の多少傾向
	人為環境に適応的である。	多
狩 猟 獣	平地～山麓	中
狩 猟 獣	平地～山麓	中
狩 猟 獣 狩 猟 獣	山間地帯 山間地帯	少 少
狩 猟 獣	山 麓	少